

1. ホームドア

①ホームドア整備に対する現状、課題、全体計画等

- 現状
当社が管理するりんかい線全7駅中、5駅に整備
(2018年度:国際展示場駅、2019年度:大井町駅、2021年度:天王洲アイル駅、品川シーサイド駅、2022年度:東京テレポート駅)
- 課題
・ホームドアの設置により、ホーム上の通行に必要な最低幅が確保できないと想定される箇所がある
・ホームドアの荷重を支えるために、ホームの補強が必要な場合がある
- 目標・取組の考え方:
・2025年度に新木場駅を整備
・東雲駅についても、ホーム構造等(ホームの幅が狭い・ホームの補強が必要)による技術的課題を考慮し整備を検討
・『『未来の東京』戦略』に示された「ホームドアの整備(JR・私鉄):2030年度目標 約6割」に対して、当社管理駅の7割が整備済みである。

②各駅の計画

<利用者10万人未満駅>

駅名	路線名	事業期間	優先整備の視点		整備状況 (令和5年3月末時点)
			駅周辺の特性	駅の特性	
天王洲アイル駅	りんかい線	令和2~3年度	・空港アクセス駅(東京モノレールとの乗換駅) ・文化施設が複数立地 ・公共施設や教育施設が立地	・東京モノレールとの乗換駅 ・島式ホーム ・特に階段付近はホームが狭隘で、ラッシュ時には滞留が発生	整備済み
品川シーサイド駅	りんかい線	令和3年度	・公共施設が集積 ・福祉施設が複数立地 ・オフィスや商業施設、教育施設が立地	・島式ホーム ・特に階段付近はホームが狭隘で、ラッシュ時には滞留が発生	整備済み
東京テレポート駅	りんかい線	令和3~4年度	・大規模複合商業施設が集積 ・公共施設や文化施設、イベントホールが立地	・島式ホーム ・イベント時には滞留が発生	整備済み
新木場駅	りんかい線	令和5~7年度	・スポーツ施設、公園が複数立地	・JR東日本・京葉線、東京メトロ・有楽町線との乗換駅 ・島式ホーム ・階段付近はホームが狭隘	全線未整備
東雲駅	りんかい線	未定	・保育所、病院等の福祉・医療施設が集積	・相対式ホーム ・ホーム端部の幅員が狭隘	全線未整備

<利用者10万人以上駅>

駅名	路線名	事業期間	整備状況 (令和5年3月末時点)
(該当なし)			